

▼膵外分泌機能検査用 PFD 内服液 [内]

【重要度】★【透析患者には禁忌】 【一般製剤名】ベンチロミド液 (U) bentiromide 【分類】膵外分泌機能検査用試薬

【単位】▼500mg/管 (1 管 10mL)

【常用量】1 回 1 瓶

【用法】早朝空腹時に採尿後、200mL 以上の水とともに服用 [評価法は添付文書参照]

【透析患者への投与方法】一定時間内の尿中排泄率で評価するため、腎機能が高度に低下している患者には禁忌 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】一定時間内の尿中排泄率で評価するため、腎機能が高度に低下している患者を除けば減量の必要なし (5)

【特徴】本剤は安息香酸・チロジン・PABA から成る合成ペプチドで、膵酵素のトリプシンにより加水分解され尿中 PABA 量が上昇。膵疾患では外分泌が障害され尿中 PABA の排泄が低下する。

【主な副作用・毒性】悪心・嘔吐、頭痛、ふらつき、発疹、心悸亢進、下痢など

【tmax】0.5~1.0hr [ラット] (1)

【代謝】主に肝で代謝。小腸にも加水分解酵素活性あり (U) 膵液中の α -キモトリプシンにより安息香酸、パラアミノ安息香酸に分解され、それらが吸収後に肝で抱合を受け、主として馬尿酸、パラアミノ馬尿酸となって尿中に排泄 (1)

【排泄】馬尿酸、パラアミノ馬尿酸として尿中に排泄 (1) PABA の N-アセチル抱合体、グリシン抱合体からなる arylamine 代謝物として尿中排泄 (U) 尿中回収率 75% [8hr まで] (1)

【蛋白結合率】90% (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】404.42

【透析性】資料なし (1)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない【O/W 係数】資料なし (1)

【備考】消化酵素剤、消炎酵素剤、利胆剤などを服用している患者では検査の目的に反するので、検査前 3 日からこれらの薬剤の服用を中止する。

【更新日】20141118

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。